

教育センター

1 研修事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、夏季休業中の専門研修講座は実施出来なかった。2 学期以降、感染状況を鑑みながら、オンライン方式による実施も含め複数回講座を実施した。内容としては、1 人 1 台タブレットの活用に向けたものを積極的に取り入れ、令和 3 年 4 月からの本格実施に向けた準備を兼ねて実施した。

(1) 専門研修講座

領 域	番 号	講 座 名	実施回数	受講者数	講 師
授業力向上教育コース	1	今からでも間に合う！プログラミング教育～LEGO We Do2.0 を活用して～	1	23	LEGO エデュケーション アカウントマネージャー 清水 雄次郎
	2	学校教育と著作権（オンライン）	1	70	三木市立教育センター 指導主事 武田 庸助
	3	情報活用能力研修（オンライン）	1	47	柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー 西田 光昭

(2) 校務システム研修会

番号	研修会名	実施回数	参加者数
1	校務支援システム(スズキ校務)研修会（オンライン）	1	16
2	Teams 導入研修（一部オンライン）	25	480
3	タブレット端末初期設定説明会	3	40
4	タブレット端末年度更新説明会（オンライン）	1	50
合 計		30	586

2 調査・研究事業

教育課題の解決方法や日々の実践を研究の視点から見直すことにより教師力を向上させることを目的として、教育センター研究員制度を実施する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が臨時休校になり、児童生徒の授業時数確保の必要があったため、本年度は中止した。

3 教育相談事業

不登校やいじめ、学校生活や学習上の課題、発達の違いや偏り、支援の必要な子ども、保護者の子育てに関する悩み等の相談を行った。

教職員の教科等の指導方法や生徒指導、情報教育、ICT 活用等について日々の悩みや疑問を解決するために支援、助言を行った。

(1) 教育一般相談

相 談 内 容		電 話		面 接		合 計
		教 員	本 人 保護者等	教 員	本 人 保護者等	
教育	不 登 校	1	8	14	103	126

相談	進路・学習等	5	61	50	326	442
	計	6	69	64	429	568
教育指導研修	教科等の指導方法	0	—	0	—	0
	生徒指導	0	—	0	—	0
	ICTを活用した学習指導・ICTトラブル	1,047	11	52	47	1,157
	研究推進	0	—	32	—	32
	進路・学習等	0	—	0	—	0
	計	1,047	11	84	47	1,189
合 計		1,053	80	148	476	1,757

(2) 「ヤングテレホン三木」(青少年悩みの相談室)

	内 容 別	電話相談	面談相談	合 計
相談内容	1 いじめ	0	0	0
	2 不登校	52	105	157
	3 学業・進路	0	0	0
	4 友人関係	5	2	7
	5 家庭・子育て	3	7	10
	6 心身の健康・保健	17	58	75
	7 発達障害等	5	36	41
	8 非行・不良行為	16	65	81
	9 暴力行為	1	15	16
	10 虐待	0	0	0
	11 体罰	0	0	0
	12 学校・教職員との関係	1	0	1
	13 その他	18	0	18
相談内容 合計		118	288	406
相談者	小学生	3	76	79
	中学生	22	53	75
	高校生	30	39	69
	教 師	4	2	6
	保 護 者	35	99	134
	そ の 他	24	19	43
相談者 合計		118	288	406

(3) 発達教育相談

医師及び指導主事により毎月1回ずつ実施。計19回、延べ33人の相談を受けた。

4 教育の情報化・視聴覚教育事業

- (1) ビデオライブラリー利用状況
貸出件数 9件 鑑賞件数 0件
- (2) ライブラリー図書等購入状況
図書 4冊 教育雑誌 3種類

5 不登校問題対策事業

不登校の児童生徒の個に応じた対応を進めるとともに、各担任を中心に学校と連携を深め、部分登校や別室指導など学校復帰と自立をめざして、適応教室（みっきいルーム）の運営を行った。

適応教室事業

開設場所	三木市立教育センター				
指導日	月曜日から金曜日まで 週当たり5日				
指導時間	午前9時から午後2時まで				
通級児童生徒数	小学生	2人	原籍校復帰児童生徒数	完全復帰	0人
	中学生	15人		部分復帰	9人

体 験 学 習	2 回（創作活動 1 回 予餞会 1 回） ＊月毎に実施する予定であったが体験活動は、新型コロナウイルス感染 予防対策のため実施しなかった。
関係者連絡会	3 回実施

6 生涯学習事業

中高年コンピュータ教室をトライやる・ウィークと連動して実施し、市民ニーズに対応するとともに、子どもの世代間交流体験の充実を図った。また、デジタルアートの可能性を広げるとともに、作品の発表の場を与えることにより、とりわけ子どもの才能を伸ばすために CG アートコンテストを開催した。

(1) 市民講座

講 座 名	講 座 内 容	回数	受講 人数	講 師
中高年コンピュータ教室	はじめの一步から年賀 状作成まで	4	24	教育センター職員

(2) 三木市 CG アートコンテスト作品展示・表彰式

長期にわたる休校措置後、6 月からの学校再開となった。再開後は、授業時間の確保が必要となり、学校で時間をかけた創作活動が困難になるため今年度は事業実施を中止とした。

7 野外活動振興事業（三木ホースランドパーク エオの森）

市内の学校及び団体等が教育（自然学校を含む）を目的として、三木市ホースランドパークエオの森を使用した場合、利用料金の一部を負担した。

野外活動事業育成負担金

（単位：円）

月別	4	5	6	7	8	9
利用件数	0	0	0	0	0	6
負担金	0	0	0	0	0	63,525

10	11	12	1	2	3	合計
7	3	2	0	0	1	19
88,275	29,315	1,734	0	0	3,300	186,149

8 施設利用状況

(1) 使用部屋別

施 設 名	回 数	割 合 (%)	人 数	割 合 (%)
大研修室	224	11	6,200	30
中研修室	183	9	2,452	12
セミナー室	326	15	2,585	13
和室	77	4	289	1
ICT 教育研修室 ビデオ編集室	20	1	130	1

ギャラリー・ライブラリー・学習コーナー	807	38	1,444	7
相談室	283	13	6,278	31
適応教室	190	9	994	5
合 計	2,110	100	20,372	100

(2) 使用関係別

項 目		回 数	割 合 (%)	人 数	割 合 (%)
主 催 事 業	研修事業	20	1	546	3
	相談事業	807	38	1,444	7
	不登校対策事業	190	9	994	5
貸 館 事 業	学校教育関係	67	3	1,260	6
	社会教育関係	122	6	1,490	7
	市行政関係	351	17	5,315	26
	公共の目的	197	9	1,958	10
	その他一般	356	17	7,365	36
合 計		2,110	100	20,372	100